

# 地域県土警察常任委員会資料

(令和6年11月29日)

ページ

- 令和6年度上半期の鳥取県への移住者数について  
【人口減少社会対策課】・・・2
- 令和5年度末 本県出身大学生等の県内就職状況等について  
【人口減少社会対策課】・・・3
- 「とっとり若者Uターン・定住戦略本部」第2回戦略本部会議の開催結果について  
【人口減少社会対策課】・・・4
- ととりの若者による政策提案会の開催結果について  
【協働参画課】・・・5
- ねんりんピック期間中における日本版ライドシェアの実証運行の結果等について  
【交通政策課】・・・6
- 鳥取砂丘コナン空港第2期コンセッションの募集要項等の公表に向けた進捗状況について  
【交通政策課】・・・7
- 首都圏での「とととう とっとり」サウナ旅のプロモーションについて  
【観光戦略課】・・・8
- 大阪・関西万博に向けた本県の主な推進状況について  
【観光戦略課】・・・9
- 国際航空路線の最近の動きについて  
【国際観光課】・・・10
- 米国での観光物産トッププロモーション等について  
【交流推進課】・・・11
- 鳥取県・江原特別自治道友好交流30周年記念行事の開催結果について  
【交流推進課】・・・13
- 調布市「ゲゲゲ忌」における情報発信について  
【まんが王国官房】・・・15
- まんが王国ととりの最近の取組について  
【まんが王国官房】・・・16
- 鳥取県江原特別自治道友好交流30周年記念事業「日韓ウォーキング交流」の実施について  
【中部総合事務所県民福祉局】・・・18

輝く鳥取創造本部

## 令和6年度上半期の鳥取県への移住者数について

令和6年11月29日

人口減少社会対策課

令和6年度上半期(4月～9月)の本県への移住者数は、782世帯1,054人となり、上半期の移住者数では、過去最多となりました。

増加の背景として、鳥取県定住機構への移住相談件数の増加、とっとり暮らし体験ツアー(オーダーメイド型移住体験ツアー)の利用件数の増加など、本県への移住に対する関心の高まりが伺えます。

引き続き、移住先としての鳥取県の魅力発信に努めるとともに、本年4月に立ち上げた「とっとり若者Uターン・定住戦略本部」において若者のUターンや定住に向けた若者目線の施策を実行し、年間3,000人の移住者受入れを目標に移住促進に取り組んでいきます。

### ○市町村別の移住者数

市町村名	令和6年度上半期(A)		参考			
			令和5年度上半期(B)		増減(A-B)	
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
鳥取市	149	212	158	219	△9	△7
米子市	139	241	107	181	32	60
倉吉市	120	142	85	122	35	20
境港市	48	60	76	99	△28	△39
岩美町	33	40	40	43	△7	△3
若桜町	8	9	10	11	△2	△2
智頭町	3	3	4	7	△1	△4
八頭町	17	24	13	23	4	1
三朝町	23	28	10	16	13	12
湯梨浜町	43	51	24	34	19	17
琴浦町	73	82	72	87	1	△5
北栄町	25	33	22	27	3	6
日吉津村	9	16	11	13	△2	3
大山町	5	6	16	20	△11	△14
南部町	31	42	30	46	1	△4
伯耆町	11	13	14	19	△3	△6
日南町	18	18	13	16	5	2
日野町	14	15	15	17	△1	△2
江府町	13	19	2	2	11	17
合計	782	1,054	722	1,002	60	52

### ○平成27年度からの移住者数の推移

年度		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人数	上半期	909	916	933	954	984	856	919	946	1,002	1,054
	下半期	1,043	1,106	1,194	1,203	1,185	1,280	1,449	1,157	1,359	—
	年間	1,952	2,022	2,127	2,157	2,169	2,136	2,368	2,103	2,361	—

(参考)

- ・鳥取県定住機構への移住相談件数(上半期)…(R5)869件 →(R6)1,045件(対前年20%増) コロナ禍以降では最多
- ・オーダーメイド型移住体験ツアー利用件数…(R4)88件 →(R5)131件(R6上半期も76件と好調) 過去最多

## 令和5年度末 本県出身大学生等の県内就職状況等について

令和6年11月29日  
人口減少社会対策課

令和6年3月に卒業した本県出身大学生等の県内就職状況について、県内・県外大学等に調査を行った結果は次のとおりでした。

### 【結果概要】

#### 1 県内大学等卒業生の県内就職率は28.9%（前年比△0.2%）

…大学別では、鳥取大学 17.5%(+0.1%)、鳥取看護大学 70.5%(+1.9%)、鳥取短期大学 82.7%(+1.3%)が増加、公立鳥取環境大学 18.8%(△3.6%)、米子工業高等専門学校 14.4%(△1.4%)が減少。

#### 2 県外大学等に進学した本県出身者のUターン就職率は35.1%（前年比△3.6%）

…大学の地区別に見ると、中国地方 45.5%(△5.8%)、関西地方 27.3%(△1.7%)、関東地方 12.5%(△9.4%)となっており、近隣県及び都市部での減少傾向が顕著。

⇒全国的な有効求人倍率の上昇を背景に、都市部における学生の引き合いが強まっていることも要因の一つと思われます。

(対策) これまで県外進学した学生と鳥取県との繋がりが薄く、県の情報が届きにくい環境にあったことから、就職支援協定を結んだ大学からのアプローチに加え、都市部の若者による緩やかなネットワークづくり（「とっとりへウェルカニネットワーク」）や、「親・家族」を介した情報発信の強化、成人式等の機会をとらえたUターン・定住のPR（テレビCM放映や「とりふる」の活用促進キャンペーン）等により、県外に進学・就職した鳥取県出身者への情報発信や移住・就職相談対応の強化を図ります。

※「とっとりへウェルカニネットワーク」、親・家族を介した情報発信、成人式等の機会をとらえたPRは、「とっとり若者Uターン・定住戦略本部」の議論を踏まえ事業化。

### (1) 県内大学等卒業生の県内就職状況

	就 職 者 (A)					比 率 (B/A)		卒 業 者 (C)					比 率 (D/C)	
			うち県内就職(B)		うち県内出身					うち県内出身(D)				
鳥取大学	868	( 922 )	152	( 160 )	112	17.5%	( 17.4% )	1,418	( 1,421 )	245	( 184 )	17.3%	( 12.9% )	
公立鳥取環境大学	239	( 232 )	45	( 52 )	28	18.8%	( 22.4% )	271	( 270 )	43	( 42 )	15.9%	( 15.6% )	
鳥取看護大学	78	( 70 )	55	( 48 )	51	70.5%	( 68.6% )	83	( 73 )	62	( 55 )	74.7%	( 75.3% )	
鳥取短期大学	208	( 221 )	172	( 180 )	164	82.7%	( 81.4% )	241	( 256 )	216	( 224 )	89.6%	( 87.5% )	
米子工業高等専門学校	146	( 146 )	21	( 23 )	19	14.4%	( 15.8% )	219	( 207 )	193	( 166 )	88.1%	( 80.2% )	
合計	1,539	( 1,591 )	445	( 463 )	374	28.9%	( 29.1% )	2,232	( 2,227 )	759	( 671 )	34.0%	( 30.1% )	

※ ( ) 内は前年数値。鳥取大学と鳥取環境大学は大学院（修士課程）含む。（地元定着に関する協定に用いた値（県内就職率）は学部生のみを対象としており、上記の数値とは異なる。）

### (2) 本県出身の県外大学等卒業生の県内就職状況

卒業年月	有効回答数	県内高校出身者数 (A)	就職者数 (県内外含む)(B)	県内就職者数 (C)	就職者に占める県内就職率 (C/B)		
					全体	男	女
R6.3	91校	1,128人	901人	316人	35.1%	29.6%	39.9%
R5.3	86校	1,155人	917人	354人	38.6%	35.1%	41.9%
R4.3	83校	1,125人	887人	336人	37.9%	35.7%	40.4%
R3.3	78校	1,057人	835人	336人	40.2%	39.5%	40.9%
R2.3	65校	968人	816人	324人	39.7%	37.5%	42.1%
H31.3	60校	960人	793人	282人	35.6%	32.5%	38.6%

(調査対象(R3.3卒以降)：本県出身者在籍数上位100大学及びその他協定締結校)

(調査対象(R2.3卒以前)：本県出身者在籍数上位50大学、関東15大学、関西10大学及びその他協定締結校)

<概要>

- ・地区別では、中国 45.5%、四国 39.3%、関西 27.3%、関東 12.5%、中部 40.0%、九州 25.0%
- ・分野別では、文系 29.7%、理系 27.5%、医療・福祉 35.2%、教育 64.2%、その他 39.1%

# 「とっとり若者Uターン・定住戦略本部」第2回戦略本部会議の開催結果について

令和6年11月29日  
人口減少社会対策課

若者のUターン・定住を促進するため、産学官が連携して若者（当事者）の意見を取り入れた施策等のアクションを起こす実行組織「とっとり若者Uターン・定住戦略本部」（4月1日設置）の第2回戦略本部会議を開催しましたので、その概要を報告します。

## 1 会議の開催概要

(1) 日時等 令和6年11月20日（水）15時から16時50分まで、県庁 講堂

(2) 出席者 23名

若者（9名）：地域活動を行っている学生、地域活動実践者、移住者、県外若者交流団体  
商工団体（3名）：鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会  
学術機関（4名）：鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取看護大学・鳥取短期大学、米子工業高等専門学校  
行政（7名）：鳥取県（知事、輝く鳥取創造本部長、子ども家庭部長、商工労働部雇用人材局長、教育委員会事務局次長、東京本部長、関西本部長、とっとり未来創造タスクフォース）

(3) 議 事

戦略本部で出た意見等をもとに、本年度新たに取り組んでいるアクションや、今後特に産学官連携が必要なアクションについて、現状共有や意見交換を行った。

### ア 今年度新たに取り組んでいるアクション

主なターゲット	主なアクション
高校卒業までの学生	・若者の共感を生むデジタル教材の制作 ・高校生地域活動等の推進
県内大学生	・「暮らすインターンシップ」プログラムの開発 ・学生ライターによる地域・企業の取材等 ・若者定着に向けた協定（地域を担う人材の育成及び定着推進に関する協定）の締結（5/27）
県外進学・就職以降の若者	・都市部と繋がり続けるプラットフォーム（とっとりへウエルカニネットワーク）の構築 ・地域おこし協力隊の活用拡大 ・親・家族へのアプローチ（テレビCMの放送、県政だよりでの情報発信等） ・新成人等をターゲットとしたUターン・定住キャンペーン

### イ 今後特に産学官連携が必要なアクション

- ・インターンシップの充実（若者目線のプログラム開発等）
- ・県内企業を知る機会の充実（県内で学ぶ高校・大学生と県内企業・大学等が一堂に集まる交流会の開催）
- ・県内就職へのインセンティブの充実（鳥取県未来人材育成奨学金支援制度の拡充）

(4) 出席者の主な発言

- ・とっとりインターンシップ制度を使った大学の単位取得プログラムの認知度が低い印象がある。
- ・インターンの受け入れ企業が少ないのは、インターンシップの企画に労力を割けないのも一因。有償インターンシップを募集して、学生にインターンシップの企画を考えてもらうことも考えられる。
- ・学生と大学・企業が一堂に集まるイベント実施は、学生が企業を選ぶ選択肢が増え、かつ高校生と大学生の繋がりができてよい。
- ・学生が地域の取材を通じて、鳥取の魅力を知って、人の繋がりも作っていけば定住に繋がる。
- ・「とりふる」（ふるさと鳥取アプリ）は、県外に進学、就職した方々を繋ぐ一つのツールとして重要。
- ・就職するにあたって、奨学金や交通費の支援は大きな動機になり得る。認知度が低いのが課題で、高校生にも知って欲しい。
- ・鳥取を知ってもらい、関係性を持ってもらう取り組みが多いが、移住・定住のためには仕事づくりも重要。
- ・県外に出てしまうと本県出身の人に会わないので、本県出身に人と気軽に繋がれる機会があるとよい。

## 2 今後の予定

今回いただいた意見等を踏まえ、引き続き、若者・産学官協働によりアクションを進めていく。

## とっどりの若者による政策提案会の開催結果について

令和6年11月29日  
協働参画課、とっどり未来創造タスクフォース

県内の高校生から30代までの方で構成された「とっどり若者活躍局」と県庁若手職員で構成された「とっどり未来創造タスクフォース」が合同で「とっどりの若者による政策提案会」を開催し、知事に対して政策提案等を行いましたので報告します。

### 1 開催概要

- (1) 日 時 令和6年10月27日（日）午後1時～2時
- (2) 場 所 新日本海新聞社 5階 ホール（鳥取市富安）
- (3) 出席者 平井知事、とっどり若者活躍局メンバー25名<sup>(※)</sup>  
とっどり未来創造タスクフォース職員6名  
(※) 高校生9名、大学生7名、社会人9名
- (4) その他 とっどり若者活躍局のInstagramでライブ配信



### 2 主な提案内容

#### (1) 移住・定住、関係人口創出

提案概要	提案者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと鳥取アプリ「とりふる<sup>(※)</sup>」の登録機会の拡大、掲載内容の工夫等による利用促進</li> <li>・産学官連携で、学生と県内大学・企業等が一堂に集まる交流会開催による若者定着の取組</li> <li>・移住潜在層である都市部在住の県出身者等をサポートする「Uターンコンシェルジュ」の創設</li> <li>・YouTube ショート（最大60秒の縦型動画）の活用等による若者に響く情報発信</li> </ul>	若者活躍局
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者世代に影響力のあるメディアと連携した県外在住鳥取県出身学生向けの移住情報発信</li> <li>・県外在住鳥取県出身学生との繋がりを維持・構築するための県外学生コミュニティの形成</li> </ul>	タスクフォース

(※) とりふる … 主に県外在住者向けに県内の就活や移住イベント等に関する情報を発信するスマートフォンアプリ

#### (2) 出会い・子育て、教育

提案概要	提案者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て王国とっどりアプリの改修や掲載内容の工夫等による利用改善</li> <li>・JR等の待ち時間などに高校生等の若者が自由に勉強しながら過ごせる交流スペースの開設</li> </ul>	若者活躍局
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者世代のえんトリー<sup>(※)</sup>利用者増のため、年齢層が近い縁結びナビゲーター<sup>(※)</sup>を育成</li> <li>・放課後子ども教室と教育活動へ前向きな地域企業とのマッチングによる新たな体験活動の提供</li> </ul>	タスクフォース

(※) えんトリー…独身者の引合せを支援するため鳥取県が開設した婚活サポートセンター

(※) 縁結びナビゲーター(縁ナビ) … えんトリーの支援制度の1つで、結婚を希望する独身者の相手を探したり、お見合いのセッティングを行う現代版の仲人(ボランティア)

#### (3) 持続可能な地域づくり、庁内改革

提案概要	提案者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある若者と県内大学生等との交流会開催によるあいサポート運動の若者向け普及促進</li> <li>・地域で活動したい若者と若者のアイデアや行動力がほしい地域とを繋ぐサイトの創設</li> </ul>	若者活躍局
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレックスタイム制度の改良、「選択的週休3日制<sup>(※)</sup>」の拡充及び利用促進のための基盤整備</li> <li>・職員が他課の業務に一時的に従事できる制度の導入、副業に取り組みやすくなる仕組みの導入</li> </ul>	タスクフォース

(※) 選択的週休3日制…総労働時間は変えずに、勤務日の労働時間を増やした上で、職員の希望に応じ土日以外に週1日週休日設ける仕組み。本県では現在、育児介護職員のみ利用可能だが、これを一般職員も利用できるようにすることを提案するもの。

# ねんりんピック期間中における日本版ライドシェアの実証運行の結果等について

令和6年11月29日  
交通政策課

令和6年10月19日から22日に鳥取県内で開催された「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」における交通需要の増加に対応するため、令和6年3月から可能となった日本版ライドシェア「とっとライドシェア」を県内で初めて実証運行しました。自治体の申し出によるイベント型の日本版ライドシェアは中国地方で初めてのものです。また、今回の実証結果を今後の交通施策へ活かすため、検証会議を開催しましたので報告します。

## 1 実証運行結果

- (1) 実証期間 令和6年10月18日(金)16時～10月22日(火)24時 計5日間
- (2) 実施事業者 7社(日本交通(株)、鳥取自動車(株)、日ノ丸ハイヤー(株)、(有)サービスタクシー、皆生タクシー(株)、(株)港タクシー、米子第一交通(株) 計7社
- (3) ドライバー数 74名(東部:37名、中部:10名、西部:27名)  
⇒期間中実際に稼働いただいたドライバー数は延べ263名
- (4) 運行回数 105回  
⇒日別の回数(10/18:7回、10/19:44回、10/20:25回、10/21:20回、10/22:9回)  
⇒エリア別の回数(鳥取66回、倉吉7回、米子30回、境港2回)
- (5) 備考 今回のライドシェアについて、事故やトラブルの報告はなく、安全に運行された。

## 2 検証会議

- (1) 日時・場所  
(東部会場) 令和6年11月18日(月) 県庁  
(西部会場) 令和6年11月20日(水) 西部総合事務所
- (2) 出席者 県、ライドシェア実施事業者、  
国土交通省中国運輸局鳥取運輸支局 ほか
- (3) 内容(主な意見)



- ア 成果 R6.10.11 ライドシェア試走会
- ・タクシー需要が増えた部分を一定程度ライドシェアで補うことができた。  
⇒GOアプリ利用実績によると、通常の土日との比較でタクシー配車が同程度の利用だったことに加え、ライドシェア稼働したことでタクシー不足分をフォローできた。
  - ・県外の他地域で実施したライドシェアと比べても、稼働状況は良かった。  
⇒国スポ期間中の佐賀市で1台1時間あたりの稼働回数が約0.1回だったのに対し、ねんりんピック期間中の鳥取交通圏では約0.3回、米子交通圏では約0.4回となった。
  - ・5日間の短期間で延べドライバー数263名は全国的に見ても好事例。
  - ・ドライバーへのアンケート結果によると、今後タクシードライバーを目指したいという方や、ライドシェアの機会があればドライバーとして参加したいという回答が多く、ドライバー確保の機運醸成につながったものと考えられる。
  - ・実際に運行することで、タクシー事業者がライドシェアに前向きになった。

### イ 課題

- ・ドライバーがなかなか集まらなかったため、採用手続きや研修等の時間がタイトだった。
- ・ねんりんピック参加者の年齢層が高かったこともあり、アプリの周知・活用が進まなかった。  
⇒ライドシェア利用者の中には、期間中にビジネスやコンサート等で来県された方も多かった。

### ウ 事業者からの主な意見

- ・金、土曜日の夜間などタクシーが不足する時の実施が考えられる。
- ・単発イベントで実施するのであれば、ドライバー採用から研修までの時間を考えて、かなり前から準備を始める必要がある。

## 3 今後の取組

まずは、米子交通圏において金・土曜日の夜間に日本版ライドシェアが実施される見込みとなった。その他のエリアにおいても、日本版ライドシェアの実施可能性について引き続き市町村、交通事業者と相談していく。

⇒米子交通圏(米子市・日吉津村・米子空港エリア)…11月26日付けで国許可  
金・土曜日の夜間(16時台～翌5時台)の日本版ライドシェアを実施予定。  
(皆生タクシー5台、米子第一交通1台 計6台)

# 鳥取砂丘コナン空港第2期コンセッションの募集要項等の公表に向けた進捗状況について

令和6年11月29日  
交通政策課

鳥取砂丘コナン空港の第2期コンセッション（以下「第2期事業」）では、「鳥取県営鳥取空港の設置及び管理に関する条例」に基づき、選定事業者を公募の方法によって選定することを予定しています。

現在、第2期事業について、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）」（PFI法）第7条に基づく特定事業の選定及び同法第8条に基づく民間事業者の選定等（募集要項等の公表）に向けた手続きを進めていますので、その進捗状況を報告します。

## 1 特定事業の選定に向けたVFM（県の財政負担軽減額）の試算

令和6年8月1日に公表した「第2期鳥取県営鳥取空港特定運営事業等実施方針」に基づく事業内容について、第2期事業を県が自ら実施する場合の事業収支と、公共施設等運営権を設定しコンセッション事業として実施する場合の県の事業収支を試算・比較し、VFMを試算した。現時点におけるVFMの試算結果は次のとおりプラス値となるため、当該事業内容を前提として、今後（令和7年2月頃）、第2期事業を特定事業として選定していくことは適当と判断できる。

なお、VFMの評価は特定事業の選定時（予測）と事業者選定時（実際）の2回に分けて行う予定であり、今回の試算は特定事業の選定時のVFMである。

項目	事業期間（20年間）累計の収支差額（現在価値ベース）
従来型（県直営）で実施した場合	113.9億円
コンセッションで実施した場合	109.6億円
VFM（県の財政負担軽減額）	4.3億円

## 2 募集要項の作成

「第2期鳥取県営鳥取空港特定運営事業等募集要項」（以下「募集要項」）は、第2期事業の内容や前提条件のほか、民間事業者の募集及び選定に関する事項として、応募者の参加資格要件や公募手続、審査に関する事項等を定めるものである。

なお、現在、令和7年2月頃の募集要項等（後述3を含む）の公表に向けて調整を行っている。

## 3 優先交渉権者選定基準の作成

○ 優先交渉権者の選定は、「PFI事業実施プロセスに関するガイドライン（令和6年6月3日 民間資金等活用事業推進会議決定）」に記載の事業者選定フローに沿って行う。

- ・ 優先交渉権者の選定に係る審査は、第一次審査と第二次審査の2段階に分けて実施する。
- ・ 第一次審査では、参加資格要件の充足及び第2期事業の事業方針等についての提案を求めたうえでそれらを審査し、第二次審査参加者を選定する。
- ・ 第二次審査では、第二次審査参加者との競争的対話等を踏まえ、具体的な事業施策、事業計画等についての提案を求めたうえでそれらを審査し、優先交渉権者を選定する。
- ・ 審査会は非公開で行う。

○ 優先交渉権者選定基準のうち、提案を求める主な項目及び配点のポイントは、次のとおりである。

- ・ 第2期事業の両輪である「安全・安心な空港運営」と「空港を拠点としたにぎわいの創出」について各々提案を求めるとともに、両者の配点割合を同率としている。
- ・ 提案項目の1つの柱として「地域貢献」を掲げ、現在の鳥取空港ビル(株)の従業員の待遇を含む運営権者及び運営権者子会社等の人事・雇用に関する提案や、県内事業者との連携に関する提案を求め、地域への貢献が期待できる提案については高く評価することとしている。

## 4 第2期事業開始までのスケジュール（予定）

年度	主な内容
令和6年度	● 特定事業の選定、募集要項等の公表（2月頃）
令和7年度	● 優先交渉権者の選定・公表、基本協定の締結、SPC設立（10月頃） ● 運営権設定及び債務負担行為に係る議会への附議（2月頃）
令和8年度	● 実施契約の締結・公表（4月頃）、業務引継期間（約1年間）
令和9年度	● 第2期事業開始（4月～）

## 首都圏での「ととのう とっとり」サウナ旅のプロモーションについて

令和6年11月29日  
観光戦略課

日本航空株式会社（JAL）とコクヨ株式会社が共同代表を務める JAPAN SAUNA-BU ALLIANCE（ジャパンサウナ部アライアンス。以下「JSA」という。）と連携して実施した首都圏での「ととのう とっとり」サウナ旅の情報発信について、以下のとおり報告します。

### 1 「ととのう とっとり」サウナ旅 PRイベント

日時：令和6年11月7日（土）18時～21時  
会場：スカイスパYOKOHAMA（神奈川県横浜市）  
参加者：JSA会員（30名）、首都圏メディア7社  
概要：（1）開会宣言

（鳥取県サウナ・アウトドアツーリズム推進議員連盟 福田会長）

（2）鳥取県・平井知事×JAL・鳥取三津子社長による「地域×企業として目指したい方向性～観光、人流、食、文化など、つながり創出～」をテーマにしたトークセッション

※モデレーター：JSA共同代表 川田直樹 氏

（3）JSAによる「ととのう とっとり」サウナ旅の魅力PR

（4）琴浦町地域おこし協力隊 吉野亜紀 氏によるハーバルアウフグース体験

（5）サ飯試食会



### 2 「ととのう とっとり」サ飯フェア

期間：令和6年11月1日～11月30日  
会場：スカイスパYOKOHAMA内レストラン  
内容：県産食材を使用したメニューや鳥取のご当地メニューのサ飯メニューを提供（あごカツカレー他）  
施設内に「ととのう とっとりPRコーナー」を設置

### 3 JALサ旅との連携事業

今回の連携をきっかけに、JALが提供するサウナを目的に旅をする JALサ旅での鳥取方面の旅行商品造成や鳥取サウナ特設ページでの情報発信を実施しています。

#### 【JALサ旅での旅行商品造成】

（1）概要… JAL往復航空券（羽田⇄出雲・岡山等）と県内のサウナ付き宿泊施設がセットになった個人向け旅行商品（ダイナミックパッケージプラン）を造成し、JALのWebサイトで販売

（2）販売開始 … 11月7日～

（3）キャンペーン … JALの販売促進策として1組6000円割引（先着100組）を実施

#### 【JALサ旅メディアでの鳥取サウナ特設ページの開設】

（1）公開時期 … 11月7日～

（2）掲載場所 … JALが運営するサ旅メディア「ご当地サウナ委員会」

（3）コンセプト：本県の海・山といった大自然を感じることができるサウナを紹介し、鳥取県＝サウナのイメージを醸成。出雲空港を利用した鳥取への誘客に向け県西部のサウナを集中的に紹介。

## 大阪・関西万博に向けた本県の主な推進状況について

令和6年11月29日  
関西本部  
観光戦略課

来年4月に開幕する大阪・関西万博に向けた本県の主な推進状況について報告します。

### 1. 関西パビリオン・鳥取県ゾーンの進捗状況

- ・本県が出展する関西パビリオンの建物工事が10月末に終了し、10月23日に内覧会を開催（関西本部長が出席）。今後引続き、共通部分や外構工事等を予定（関西広域連合発注分）。鳥取県ゾーンは11月から内装工事等に着手し、並行して展示制作物等を製作中です。
- ・鳥取県ゾーンの案内・誘導、説明、管理業務等を行う運営スタッフを募集中。年内に内定者を確定し、開幕に向けて研修等を実施していきます。



【関西パビリオン外観（11月中旬）】



【関西パビリオン内の様子（10月下旬）】

### 2. 「とっとりリアル・パビリオン」の情報発信等

- ・大阪エリアのJTB（11店舗）で店頭キャンペーン（11/1～12/31）
- ・大阪駅のデジタルサイネージでの発信（11/1～12/31）
- ・「ひょうごフィールドパビリオン」と連携した情報発信（12月中HP掲載予定）  
（周遊テーマ案）
  - ①山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク
  - ②森林セラピーや温泉
  - ③「日本遺産×温泉」
  - ④マンガのゆかりの地
  - ⑤智頭急行などレトロな鉄道
  - ⑥中国道、山陰道等周辺ドライブ
- ・観光施設・宿泊施設への幟旗（約500本）の掲出（R6.10.23～）
- ・鳥取・米子・倉吉の広告塔への掲載（10/1～）
- ・香港のメディア、マレーシアの旅行社などによるSNS等を活用した情報発信（10月～） など

### <参考>

#### 1. 自治体参加催事及び関西パビリオン・多目的エリアでの鳥取県催事 等

本県への観光誘客、県産品の販路拡大、産業振興、国際交流、文化芸術等の鳥取県の魅力を発信する催事開催に向け、関係者や団体等と調整中です。

- ・EXPO ホール（約1,850席）「今日は一日鳥取県～まんが王国ととりの魅力～」と題し、トークショー、ライブステージ、郷土芸能など（R7.7.1）。
- ・多目的エリアでの本県催事（2回）や万博会場内での「食パラダイス鳥取県」の積極的PRに向けた催事。
  - 7月期（7/16～21）：産業展示、市町村の出展、障がい者アート展示 等
  - 8月期（8/20～25）：【食パラPR・販売】県産農畜産物加工品の試食宣伝販売 等
  - 【民芸、県産材PR】民芸品、県産材の展示・ワークショップ 等
- ・ジャマイカナショナルデー（R7.8.6）へのコラボ参加。
- ・全国手をつなぐ育成会連合会をはじめとする障がい者団体の全国ネットワークが開催する「障がい者の文化芸術国際フェスティバル」への参加（R7.10.8～11）。

#### 2. 万博の公式参加型プログラム「TEAM EXPO 2025」への参加

- ・万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を目指す取り組みを、「TEAM EXPO 2025（チームエキスポ）」として実施しています。
- ・鳥取県を主な活動地域とする企業・団体等が共創チャレンジ18件を登録し、また、共創チャレンジを生み出し・支援をする団体等の共創パートナー2件が登録されています。（R6.11.14時点）
- ・県庁本庁舎1階ロビーでは、「TEAM EXPO 2025」に参加する鳥取市立桜ヶ丘中学校第2学年の生徒による「さくら未来プロジェクト」の成果品などの展示を行っています。（R6.11.14～R7.10 展示予定）

# 国際航空路線の最近の動きについて

令和6年11月29日  
国際観光課

県内空港における国際航空路線の最近の動きを次のとおり報告します。

## 1 米子香港定期便の就航

令和6年10月27日から4年8か月ぶりに定期便が就航しました。10月の利用実績は、香港からの訪日観光客によりインバウンド便は搭乗率67.9%と好調でしたが、アウトバウンド便は、就航当初でインバウンド客の折り返しも少なく、また、円安や物価高の影響で日本人搭乗者が伸び悩み45.9%でした。引き続き、航空会社や旅行会社と連携し、インバウンド・アウトバウンド向けのプロモーションを強化していきます。

### 【2024年10月利用実績（グレーターベイ航空提供）】

提供座席数	総搭乗者数	外国人搭乗者数	日本人搭乗者数	搭乗率
1,134席	645人	594人	51人	56.9%

※11月予約率：69.2%（11月25日時点）



就航記念セレモニーの様子

### 【今後の主なプロモーション】

#### 〔インバウンド対策〕

- ・香港での鳥取県の食材を活用したレストランフェア開催（11月下旬～）
- ・グレーターベイ航空と連携したプロモーション（特価旅行商品販売キャンペーン、自社SNSでの集中的な情報発信、インフルエンサー招聘）（11月～）
- ・香港旅行会社FAMツアー及び商談会（12月）

#### 〔アウトバウンド対策〕

- ・旅行会社の商品造成への働きかけ及び広告費用等の支援（11月）
- ・Yahoo!及びGoogle等での香港便利用促進のための広告配信（11月）
- ・地元メディア向けアウトバウンドFAMツアー（1月）

## 2 鳥取ー台北国際チャーター便の就航

昨秋、今春に続きチャイナエアラインが鳥取砂丘コナン空港にチャーター便を運航しています。

### 【チャーター便概要】

- (1) 運航日：11月11日(月), 15日(金), 19日(火), 23日(土), 27日(水), 12月1日(日)
- (2) 運航区間：台湾桃園国際空港ー鳥取砂丘コナン空港
- (3) 航空会社・機材：チャイナエアライン（中華航空）B737-800（158人乗り）

※全てインバウンドのお客様のみのみ

- (4) 主催旅行会社：鳳凰旅行社
- (5) 県内の主な立寄観光地：鳥取砂丘、砂の美術館、白壁土蔵群、二十世紀梨記念館、水木しげるロード、とっとり花回廊、三朝温泉、皆生温泉 など
- (6) 全体搭乗率：76%（11月21日時点）

## 3 タイガーエア台湾の米子台北直行便

タイガーエア台湾が米子台北直行便の就航時期を来年4月（週2便）で調整しており、引き続きタイガーエア台湾及び米子鬼太郎空港関係者等と路線就航に向けて調整していきます。

また、直行便就航に向けて来年1～3月に集中プロモーションを実施します。

#### 〔インバウンド対策〕

- ・台湾旅行社と地元観光業者との商談会の実施（1月中旬で調整中）
- ・ランタンフェスティバル（2月12日～23日 開催地：桃園市）の開催中にランタンの展示及びブースを出展し食と観光を情報発信
- ・台湾観光客向けとっとりフォトキャンペーン（R7.2）  
⇒鳥取の観光地・食などのフォトキャンペーンを実施し、投稿者の中からエアチケット、鳥取県グッズなどをプレゼント
- ・「とっとりリアル・パビリオン」の魅力をSNS等で強力に発信
- ・台湾で人気のある旅行系サイトや台湾の人気インフルエンサー（鳥取県観光大使）のSNSを活用した情報発信など

#### 〔アウトバウンド対策〕

- ・地元における台湾の魅力説明会の開催（R7.1）  
※台湾観光情報、食の紹介・販売、エアチケットプレゼントキャンペーン など
- ・地元メディアでの台湾特集 など

# 米国での観光物産トッププロモーション等について

令和 6 年 11 月 29 日  
交 流 推 進 課

10 月 14 日に知事が米国ロサンゼルスにおいて、現地旅行会社や関係機関等を対象とした説明会を行い県の観光情報をアピールするとともに、地元スーパーにおいて県産梨のトップセールス等を行いました。

## 1 在ロサンゼルス曾根総領事他との面談

- (1) 日時 10 月 14 日 (月) 10 時 25 分～10 時 50 分 (現地時間)
- (2) 場所 ジャパンハウス内 UKA レストラン (カリフォルニア州ロサンゼルス)
- (3) 出席者 鳥取県：平井知事 ほか  
領事館：曾根健孝 (そね けんこう) 駐ロサンゼルス日本国総領事、  
海部優子 (かいふ ゆうこ) ジャパンハウス ロサンゼルス館長ほか
- (4) 概要
  - ・アメリカ西海岸での鳥取県の認知度向上や、観光客誘致・鳥取和牛や二十世紀梨、民工芸などの販路開拓等について幅広く意見交換を行った。
  - ・特にアメリカにおいては、まんがを活用した PR が効果的とのことで今後、領事館と連携してアメリカ西海岸の情報発信に取り組んでいくことを確認した。
  - ・領事館が開催するイベント等でも本県の観光や食、文化などの情報を発信いただけることとなった。



左：曾根総領事(中央)、海部館長(右)

右：曾根総領事、海部館長との面談の様子

## 2 観光情報説明会「知られざる日本の観光・食の魅力—鳥取県—」でのプロモーション

- (1) 日時 10 月 14 日 (月) 11 時 10 分～12 時 35 分 (現地時間)
- (2) 場所 ジャパンハウス内「UKA」(カリフォルニア州ロサンゼルス)
- (3) 主催 鳥取県 (協力：エイチ・アイ・エス ロサンゼルス支社)
- (4) 参加者 現地旅行社、現地メディア、公的機関など約 20 名  
来賓 曾根健孝 (そね けんこう) 駐ロサンゼルス日本国総領事  
海部優子 (かいふ ゆうこ) ジャパンハウス ロサンゼルス館長  
田中陽子 (たなか ようこ) 日本政府観光局ロサンゼルス所長  
柴原友範 (しばはら ともり) 日本貿易振興協会ロサンゼルス事務所次長  
川口真理 (かわぐち まり) 南加鳥取県人会会長

- (5) 概要
  - ・主催者である平井知事から現地旅行社、現地メディア、公的機関などの参加者に対し、鳥取県の自然に恵まれた観光地や食の豊かさなどの魅力を伝えた。
  - ・参加者に対して、観光プレゼンテーションを行うとともに、県産酒、二十世紀梨、砂丘らっきょう、境港産紅ズワイガニのバーニャカウダに加え、鳥取県産菓子や名探偵コナングッズ等を提供。
  - ・来場者の多くは初めて鳥取県の食材に触れる機会となったが、「美味しい」との言葉と共に、使用した食材を含め、鳥取の食材を使いたいとの声が多く聞かれた。
  - ・参加者から「漫画やアニメのツアーを検討しているので、ぜひ視察に行ってみたい」「農業体験、学校交流、ホームステイ等を組み込んだ教育旅行団を送客したい」「富裕層の顧客を抱えており、ぜひ現地視察をしてみたい」「梨がみずみずしくておいしかった」「三徳山を文化的にも興味を持っており、一度行ってみたい」とのコメントをいただいた。



観光情報説明会の様子

### 3 日本文化発信拠点「ジャパンハウス」視察

- (1) 日時 10月14日(月)10時10分～25分、12時45分～55分(現地時間)
- (2) 場所 ジャパンハウス内 ギャラリー  
(カリフォルニア州ロサンゼルス)
- (3) 内容 海部優子(かいふゆうこ)ジャパンハウス ロサンゼルス館長から、ジャパンハウスの機能や活動状況等について説明を受け、本県観光物産キャンペーンでの活用について検討していくこととした。



ジャパンハウス視察の様子(左から海部館長、平井知事、曾根総領事)

### 4 現地日系スーパーでの関係者との面談及び県産梨のトップセールス

- (1) 日時 10月14日(月)14時00分～15時00分(現地時間)
- (2) 場所 Tokyo Central(現地日系スーパー)(カリフォルニア州ロサンゼルス)
- (3) 出席者 鳥取県側：平井知事、尾崎博章(おさきひろあき)JA全農とっとり本部長  
田中薫(たなかかおる)JA全農とっとり園芸部長  
西村乗(にしむらじょう)全農アメリカ秘書役補佐 ほか  
販売店側：松元和博(まつもとかずひろ)PPIH取締役兼常務執行役員  
豊浩一(とよこういち)Marukai Corporation代表取締役社長ほか
- (4) 内容

- ・面談では、平井知事から、令和4年度からの鳥取県産梨の取扱いについて感謝するとともに、食パラダイス鳥取県が誇る生鮮品、日本酒、菓子等の販路拡大について協力を依頼した。
- ・販売店側からは、梨・菓子等のみならず水産物を含めた鳥取県産品の取り扱いについて意欲が述べられるとともに、感謝祭、年末、旧正月等の需要期にハワイ・カリフォルニアに売り込める物産について検討してみたい、との発言があった。
- ・店頭で行われたトッププロモーションは、試食や購買など多くの来客で賑わい、初めて県産梨を味わった方が多い中、「たいへん甘くて美味しい」という感想をいただいた。



豊社長との面談の様子



県産梨トッププロモーションの様子

### 5 南加(なんか)鳥取クラブ(現地県人会)創立115周年記念行事

- (1) 日時 10月14日(月)18時30分～21時00分(現地時間)
- (2) 場所 海皇海鮮酒屋(カリフォルニア州ガーデナ)
- (3) 出席者 鳥取県：平井知事ほか  
南加鳥取クラブ：川口 真理(かわぐちまり)会長  
橋本 恵子(はしもとけいこ)副会長  
牧 進(まきすすむ)前会長  
羅府新報：永田潤記者ほか本県JET経験者(国際交流員、英語指導助手) ほか

- (4) 内容
- ・南加鳥取クラブ創立115周年を記念して祝賀行事を行い、川口会長、橋本副会長、牧前会長と南加鳥取クラブ(現地県人会)の近況について意見交換を行うとともに、本県でのJETプログラム経験者から本県のプロモーションについて助言を得た。
  - ・現地のイベント等でしゃんしゃん傘踊りの披露やワークショップ開催等に尽力されている橋本副会長を「とっとり傘踊りアンバサダー」に、県人会の活動を支援していただいている川口会長を「とっとりふるさと大使」に任命し、県観光PR等への協力を依頼した。



「とっとり傘踊りアンバサダー」「とっとりふるさと大使」任命の様子(左から、牧前会長、川口会長、橋本副会長、平井知事)

# 鳥取県・江原特別自治道友好交流30周年記念行事の開催結果について

令和6年11月29日  
交流推進課

11月8日から10日にかけて金鎮台（キム・ジンテ）江原特別自治道知事、金是晟（キム・シソン）議長をはじめとする江原特別自治道訪問団92名をお迎えしての記念行事や両県道の若者芸術交流イベント、11月13日から18日にかけて江原特別自治道の高校生を招いての日韓野球交流を含めた「鳥取県・江原特別自治道友好交流30周年記念行事」を開催しましたので、次のとおり報告します。

## 【江原特別自治道訪問団来県日程】

11月8日（金）

午前：国際定期貨客船で来県 ※境港昭和北ターミナルにて、平井知事がお出迎え  
午後：あいサポート運動15周年セレモニー出席、倉吉市内（白壁土蔵群）視察  
両県道30周年記念行事、両県道若者芸術交流イベント出席

11月9日（土）

午前：鳥取砂丘視察、日韓自治会交流出席  
午後：琴浦町日韓友好資料館視察、日韓交流シンポジウム出席

11月10日（日）

午前：鳥取県観光連盟・江原観光財団意見交換会出席  
午後：出発（米子→神戸）

## 1 鳥取県・江原特別自治道友好交流30周年記念行事

鳥取県・江原特別自治道友好交流30周年を記念し、両県道知事及び議長が面談の上、「日本国鳥取県と大韓民国江原特別自治道の新たな30年に向けた「心の道」拡大共同宣言」を採択した。

- (1) 日時：11月8日（金）15:00～15:45
- (2) 場所：鳥取県立美術館 2階展示室（倉吉市駄経寺町2-3-12）
- (3) 出席者：

＜江原特別自治道＞

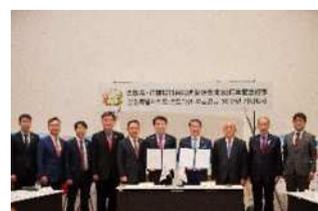
金鎮台（キム・ジンテ）知事、金是晟（キム・シソン）議長、  
崔承洵（チェ・スンソン）議員、嚴基昊（オム・ギホ）議員、  
曹永俊（チョ・ヨンジュン）国際関係大使、  
金胄龍（キム・ジュヨン）国際協力官

＜鳥取県＞

平井知事、浜崎議長、杉原鳥取県西部地区日韓親善協会会長、  
鈴木観光交流局長

- (4) 主な発言等：

- ・「日本国鳥取県と大韓民国江原特別自治道の新たな30年に向けた「心の道」拡大共同宣言」を採択した。
- ・平井知事は「友情を通じることができたことこそが、強固な架け橋。交流新時代に向かっていきたい。」と発言した。
- ・金鎮台（キム・ジンテ）知事は「一番重要なのは心の道。さらに活発な交流にして観光交流にも力を入れたい。」と発言した。



「心の道」拡大共同宣言採択



面談の様子

## 2 若者芸術交流イベント

江原特別自治道立舞踊団をはじめとする江原特別自治道訪問団を迎え、両県道の若者がパフォーマンスを披露した。

- (1) 日時：11月8日（金）16:00～17:15
- (2) 場所：鳥取県立美術館 1階正面エントランス（倉吉市駄経寺町2-3-12）
- (3) 出席者：

＜江原特別自治道＞

金鎮台（キム・ジンテ）知事、金是晟（キム・シソン）議長、江原特別自治道立舞踊団、日韓大学生

＜鳥取県＞

平井知事、浜崎議長、米子高校ダンス部、歌同好会

- (4) 内容：米子高校 K-POP ダンス・歌、江原特別自治道立舞踊団による韓国舞踊披露、両県道知事によるパフォーマンス、両県道交流大学生による合唱（唱歌ふるさと、江原道アリラン）

- (5) 概要：

- ・金鎮台（キム・ジンテ）知事は手品、平井知事はしゃんしゃん傘踊りを披露した。
- ・両知事のパフォーマンスに会場は盛り上がり、両県道関係者の交流を深めた。
- ・参加した大学生からは「30年の記念の年に県代表と参加できて光栄。」との声があった。



交流イベント参加者記念撮影



両県道知事と日韓大学生の合唱

### 3 日韓自治会交流

- (1) 日時：11月9日（土）10：00～11：00
- (2) 場所：鳥取ワシントンホテルプラザ（鳥取市東品治町 102）
- (3) 出席者：

＜江原特別自治道＞

自治会団（チョン・ヨンノク 里・統長連合会会長、キム・ジョンナム自治行政課長ほか）  
行政団（金鎮台（キム・ジンテ）知事）

＜鳥取県＞

鳥取市自治連合会 土橋会長、鳥取県池上統轄監、  
鳥取市小森協働推進課長 ほか

- (4) 内容：

- ・鳥取市自治連合会及び江原特別自治道 里・統長連合会が防災や福祉等互いの取組事例を交え、それぞれの活動内容を説明した。
- ・江原特別自治道 里・統長連合会から鳥取市自治連合会へ、相互交流活性化の提案書を手交した。
- ・日韓併せて自治会関係者 60 人が出席し、民間交流をさらに強めていくことを確認した。
- ・民間交流の進展に向けたスローガンを宣言し、草の根の交流を継続していく決意を共有した。



両県道自治会友好発展のためのスローガン

### 4 日韓交流シンポジウム

- (1) 日時：11月9日（土）15：00～16：30
- (2) 場所：米子ワシントンホテルプラザ（米子市明治町 125）
- (3) 出席者：

江原特別自治道 金鎮台（キム・ジンテ）知事、金是晟（キム・シソン）議長ほか  
駐神戸大韓民国総領事館 李相烈（イ・サンヨル）総領事

鳥取県 平井知事、鈴木観光交流局長

大学生交流団 江原特別自治道大学生 9 名、鳥取県大学生 10 名

- (4) 内容：両県道大学生のグループワーク成果共同発表

＜学生グループワークテーマ＞

- ①若者が考える今後の両地域（日韓）の交流 ＜国際交流＞
- ②若者が活躍できる地域づくり（移住・定住など）＜地方消滅＞
- ③観光資源を活かしたインバウンド戦略 ＜地域活性＞

- (5) 概要：

- ・両県道の大学生 19 人が登壇し、7、11 月に相互訪問して視察や議論を重ねた結果を日韓大学生が共同で発表し、若者目線でスポーツや音楽を通じた交流の推進、若者向け観光スポットの創出等両県道への施策を提案した。
- ・大学生からは、「日本語で話を交わしながら各自の意見を聞いて相談する活動が一番印象深い活動だった。」「韓国の温泉と日本の温泉の街並みや雰囲気の違いが多くあり、韓国では見られないものも発見できたので楽しかった。」といった感想があった。



シンポジウム参加者記念撮影



シンポジウムで発表する大学生

### 5 日韓高校野球交流試合

- (1) 来県期間：11月13日（水）～18日（月）
- (2) 来県者：計 32 名（江原特別自治道文化体育局 2 名、江原特別自治道体育会 2 名、江陵高校 監督・選手等 28 名）

- (3) 交流試合：

＜境高校（秋季県大会優勝校）との交流試合＞

日時：11月16日（土）13時～

場所：ヤマタスポーツパーク野球場

結果：14 対 2 で江陵高校勝利

＜米子松蔭高校（秋季県大会準優勝校）との交流試合＞

日時：11月17日（日）10時30分～

場所：ヤマタスポーツパーク野球場

結果：4 対 2 で江陵高校勝利

- (4) 内容：

- ・韓国屈指の強豪校である江陵高校を招待して県内高校と交流試合を実施し、境、米子松蔭の 2 校は江陵高校のレベルの高いプレーに触れた。
- ・試合中、江陵高校は「頑張れ」「大丈夫」など来県中に覚えた日本語で声かけするとともに、両チームはお互いの好プレーを称え合った。
- ・試合終了後は笑顔で抱き合いながら記念撮影を行い、江陵高校李知厚（イ・ジフ）主将は「日本の整然としたシートノックは素晴らしいと感じた。ベンチからも大きな声が出ており、一体感のある野球を感じた。また来年も交流したい。」とコメントするなど、スポーツを通じて友好交流を深めた。



試合終了後の記念撮影

## 調布市「ゲゲゲ忌」における情報発信について

令和6年11月29日  
まんが王国官房

水木しげる先生の命日に調布市が開催する「ゲゲゲ忌」において、境港市等と連携してまんが王国とととりと観光の魅力発信を行いました。

### 1 調布市役所前庭での催し

11月23日(土祝)、24日(日)午前11時から午後4時まで、着ぐるみグリーティングほかステージイベント、各出展者によるグッズ販売、飲食提供等を実施

#### (1) 特設ステージ上での鳥取県紹介

実施時間 1日当たり2回(1回30分程度)

内 容 ・鳥取県の観光物産PR、「ウェルカニキャンペーン」「水木しげる記念館」「とととリアルパビリオン」等の紹介

#### (2) 鳥取県PRブースの設営

内 容 ・鳥取県特産品の販売(鳥取県物産協会)  
・「星空舞」関連商品を購入されたお客様に抽選で賞品贈呈(食パラダイス推進課)  
・かに汁の提供(境港市)

### 2 鳥取県PR展示

実施日 11月22日(金)から12月1日(日)まで  
会 場 調布市文化会館たづくり 1階エントランスステージ  
内 容 バナー・ポスター展示、チラシ配架、観光動画映写  
そ の 他 主催者による献花台の設置等

### 3 アニメ特別上映会での観光PRの実施

実施日 11月22日(金)、23日(土祝)、24日(日)、12月1日(日)  
会 場 イオンシネマ シアタス調布、調布市文化会館たづくり「くすのきホール」  
内 容 ・アニメ映画の上映  
・鳥取県の観光PR、「水木しげる生誕祭」概要の発表  
・出演声優・スタッフによるトークショー  
そ の 他 ・収容人数 200又は500人程度  
・料 金 有料(大人 前売5,000円・当日5,500円)  
※22日のみ それぞれ3,500円・4,000円  
・上映内容  
「ゲゲゲの鬼太郎(第2、4～6期)、悪魔くん(2023)」

#### (参考)「ゲゲゲ忌」全体概要

開催期間 11月22日(金)から12月1日(日)まで  
会 場 調布市役所前庭、調布市文化会館たづくり、イオンシネマ シアタス調布  
主 催 調布市(協力:水木プロダクション、東映アニメーション等)

## まんが王国とっとりの最近の取組について

令和6年11月29日  
まんが王国官房

秋から年末までの「まんが王国とっとり」の主な取組について、次のとおり報告します。

### 1 アニメ&マンガ聖地サミット&エキスポ 2024 への参加

アニメ・まんが関連施設（＝聖地）を中心とした地域を国内外（主に国外）にアピールするために開催された標記イベントに参加し、「まんが王国とっとり」のPRを実施しました。（「日本博2.0」（委託型）採択事業）

#### (1) 開催日・開催場所・主な内容

**サミット**：11月8日（金） 於：ハレザ池袋 多目的ホール  
有識者セミナー（アニメプロデューサー 伊藤 敦 氏）、各地域紹介、パネルディスカッション、共同宣言 ほか

**エキスポ**：11月9日（土）～10日（日） 於：中池袋公園・としま区民センター  
ステージエリア、地方自治体エリアで構成

#### (2) 主 催 文化庁、日本芸術文化振興会、アニメ&まんが聖地サミット&エキスポ実行委員会（豊島区、（株）アニメイト、（一社）アニメツーリズム協会）

#### (3) 鳥取県の参加概要

##### サミット

- ・参加10団体による各地域紹介において、平井知事のメッセージを上映するとともに鳥取県の観光の魅力を動画で紹介した。（参加10団体…東京都豊島区長、秋田県横手市長、兵庫県宝塚市副市長、長崎県五島市長、山本二三美術館副館長、青山剛昌ふるさと館長、高知県香美市長、北九州市漫画ミュージアム館長、岩手県知事（WEB参加）、鳥取県知事（ビデオメッセージ））
- ・（一社）アニメツーリズム協会の河森正治代表及び石川和子代表理事による宣言に対する同意書に平井知事が署名した。

##### エキスポ

- ・青山剛昌ふるさと館及び水木しげる記念館と連携してブース出展し、各施設及び「まんが王国とっとり」をアピールした。

#### (4) その他

- ・主催者が実施したモニターツアーにより、海外メディア3名（韓国・台湾・UAE各1名）を受け入れ（全行程10月30日（水）～11月11日（月）のうち、11月3日（日祝）から2泊3日県内滞在）、水木しげる記念館と青山剛昌ふるさと館を訪問し「まんが王国とっとり」の取組を視察いただいた。



共同宣言 （中央左）アニメツーリズム協会 石川和子代表理事  
（中央右）高際みゆき豊島区長

## アニメ&まんが 聖地SUMMIT2024宣言

アニメツーリズム協会および各自治体は、海外の旅行者が快適に日本を観光できることを願い、2024年11月8日、東京都豊島区で開催された「アニメ&まんが 聖地SUMMIT2024」において、海外の旅行者が抱える課題を共有し、更なるインバウンドの進展について議論しました。

各々の地域が持つ施設はその素晴らしい展示物や施設の外観などにおいて、国内のみならず、海外のまんがやアニメーションファンも訪れております。アニメツーリズム協会はその地を訪れる方々には、施設だけでなく、それぞれの地域が持つ魅力や文化、日常の風景や生活も合わせて楽しんでいただき、日本を好きになっていただき、リピーターになってもらうことを望んでいます。

アニメツーリズム協会は各自治体とともに日本のアニメ&まんがを訪れる海外の方々が、できる限り不自由なく、日本の地域の魅力に触れていただけることに関して、取り組んでいきます。

2024年11月8日

一般社団法人アニメツーリズム協会  
会長 河森正治  
代表理事 石川和子

## アニメ&まんが 聖地 SUMMIT2024 宣言 同意書



アニメツーリズム協会の宣言に同意いたします。

2024年11月8日

鳥取県知事

平井伸治

## 2 スーパーはくと由良駅（コナン駅）特別乗車プラン

智頭急行が令和6年12月、開業30周年を迎えることを記念し、同じく運行開始から30周年を迎える特急スーパーはくと号を終着の倉吉駅から由良駅（コナン駅）まで初めて延伸して運行します。

(1) 実施日：12月1日（日） 特急スーパーはくと3号

(2) 旅行プラン：

・ A 「まんが王国とっとり」満喫コース

☆名探偵コナンに会えるまち、北栄町をじっくり観光した後に名湯はわい温泉をゆったり堪能。翌日は鳥取駅まで「コナン列車」に乗車可。

・ B 後藤総合車両所鳥取支所見学コース

☆鳥取駅からスーパーまつかぜの回送入区便に乗車し鳥取支所へ。洗浄線体験、あめつち、スーパーはくと号先頭車両等の撮影、転車台、スーパーはくと号の運転台見学等。

(3) その他：

- ・申込みは、観光ナビ「tabiwa by WESTER」内の「西の日キャンペーン」バナーの遷移先（専用ページ）で受付（11月17日（日）終了）
- ・準備に当たっては、JR西日本、智頭急行、北栄町、鳥取県（交通政策課、観光戦略課、まんが王国官房）、日本旅行等が連携

# 鳥取県江原特別自治道友好交流30周年記念事業「日韓ウォーキング交流」の実施について

令和6年11月29日  
中部総合事務所県民福祉局

鳥取県江原特別自治道友好交流30周年記念事業として、10月25日から27日にかけて大韓民国江原特別自治道原州（ウォンジュ）市に鳥取県の学生を派遣し、現地の学生とウォーキング等による交流を行いましたので次のとおり報告します。

1 期日 令和6年10月25日（金）～10月27日（日）

## 2 交流した学生等

- (1) 江原特別自治道原州の学生
  - 漢拏(ハルラ)大学 5名
  - 尚志(サンジ)大学 5名
- (2) 鳥取県の学生等
  - 団長 木本中部総合事務所長
  - 鳥取看護大学 5名
  - 鳥取短期大学 1名
  - 倉吉東高等学校 4名
  - 随行・通訳 2名



## 3 交流内容

期日	内容
10月25日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エアソウルで出国し、韓国江原特別自治道原州市に到着</li> <li>○第30回原州国際ツデーウォーク「国際親交の夕べ」に参加し、海外のウォーカー等と食事を楽しみながら交流を行った。</li> </ul>
10月26日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第30回原州国際ツデーウォーク（10km コース）に参加</li> <li>○団長は、全在燮（チョン・ジェソプ）原州副市長主催の歓迎昼食会に参加し、大型ウォーキングイベント開催地同士の交流促進を図った。</li> <li>○原州市の観光地ソグムサン・グランドバレーをウォーキング</li> <li>○原州市街地の観光（原州市の学生がアテンド）</li> </ul>
10月27日(日)	○原州市を出発し、エアソウルで帰国

- ・学生は、6月からの再会を喜び合い、鳥取県と江原特別自治道両地域の相互理解と将来を見据えた関係性を深めるべく積極的に交流を行った。
- ※6月の日韓ウォーキング交流で学生間で Instagram を交換し、10月の再会までの期間は Instagram を通じて会話をしていた。
- ※6月の日韓ウォーキング交流から10月の訪韓までの約5カ月間で相手側言語の勉強を各自で実施していた。
- ・6月は翻訳アプリを利用することが多かったが、10月の訪韓では翻訳アプリを介さずに会話をしている姿が多く見えた。
- ・原州市街地の観光では、日韓の学生同士がペアとなり原州市街地を原州の学生がアテンドし、韓国の文化や流行についての理解を深めた。
- ・原州市出発時の見送りでは、韓国の学生から「また会いたいです、鳥取の皆さんに会いに行きます。」との発言もあり、今回の訪韓を通して更なる友情が発展している。

## 4 鳥取県のPR

原州国際ツデーウォークの会場内に鳥取県ブースを設置し、パンフレット等により鳥取県の観光及び中部のウォーキングのPRを行った。来場者からは、来年度は鳥取県のウォーキング大会に是非参加するとの声があり、米子ソウル便の利用促進が図れた。



## 5 その他参考

- ・5月31日から6月2日にかけて江原特別自治道原州の学生が来県し、鳥取県内の学生と、第23回SUN-IN未来ウォーク（10km コース）に参加するなどウォーキング等による交流を行った。
- ・原州国際ツデーウォークは、大韓ウォーキング連盟主催大会であり、NPO法人未来と大韓ウォーキング連盟の交流も本年度で20周年を迎えた。